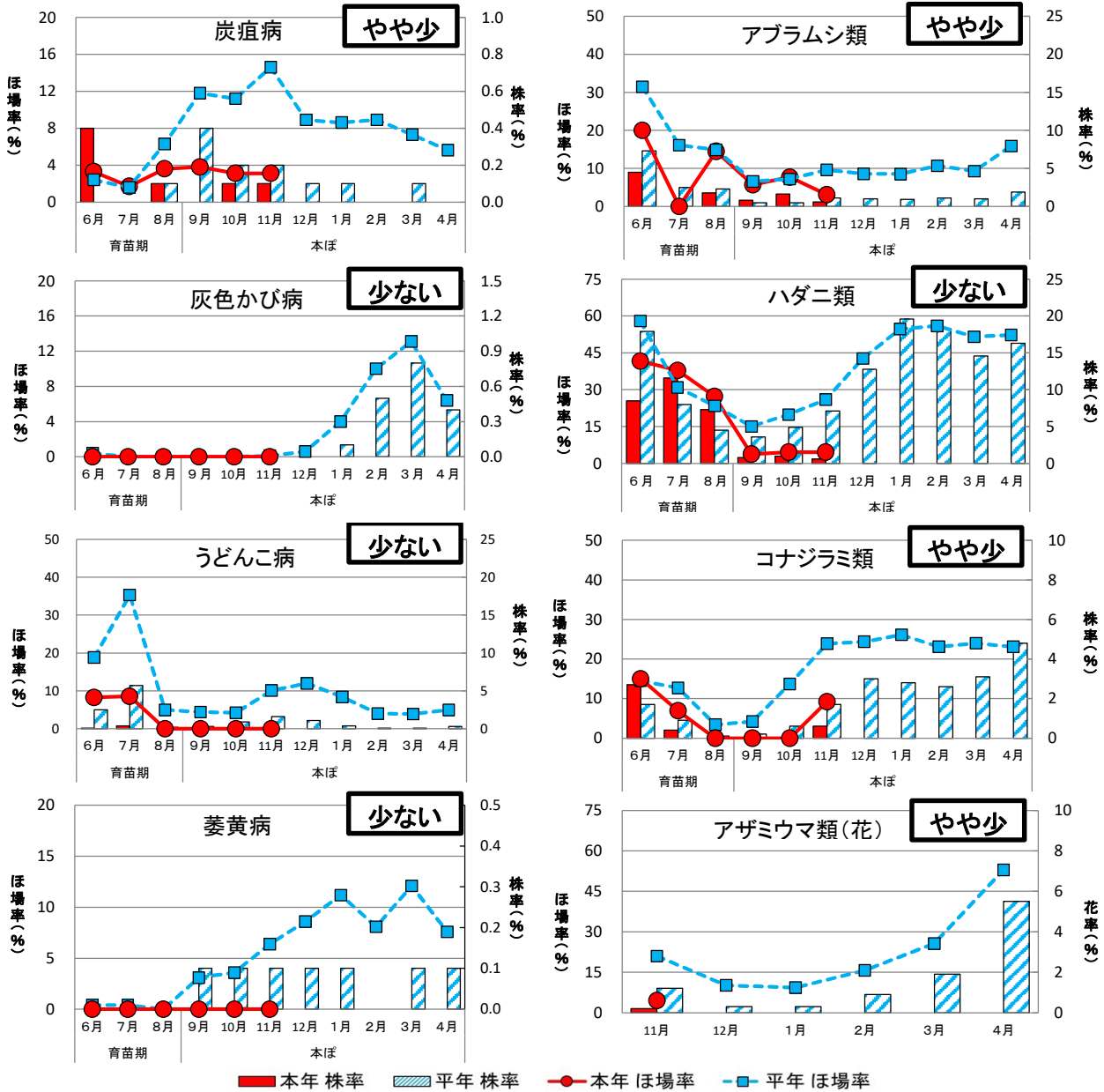


いちご病害虫情報第6号 (11月)

令和5(2023)年11月17日
栃木県農業環境指導センター

病害虫の発生状況 【総調査ほ場数：65か所】



※ほ場あたり25株調査 ※株率(%)：発生株数／調査ほ場数×25株 ※ほ場率(%)：発生が確認されたほ場数／調査ほ場数

今月の防除ポイント

ハダニ類の対策

収穫が本格化する前に防除を徹底して行い、被害の拡大を防ぎましょう。

- ほ場をこまめに観察し、増殖する前に防除を行う。
- 化学農薬に対する感受性低下が起こりやすいため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- 天敵導入時にハダニ類が多いと失敗しやすいため、天敵導入前に気門封鎖剤や天敵に影響の小さい薬剤を散布し、ハダニ類の増殖を抑制しておく。

■ 今月のトピックス コナジラミ類

被害について

コナジラミ類は成虫の体長が1～2mm程の白い小さな虫で、いちごではオンシツコナジラミが主要種ですが、タバココナジラミが発生することもあります。

コナジラミ類による主な被害は、吸汁加害による株の生育不良です。他の野菜類では、ウイルス病を媒介して間接的に被害を与えることもありますが、いちごでは今のところウイルス伝搬の報告はありません。

防除対策について

多発生してからでは防除が困難なため、初期防除を徹底しましょう。

- 1 施設内外の除草を徹底する。いちご以外の野菜、花き類はハウス内に持ち込まない。
- 2 幼虫は葉裏に寄生するため、薬剤散布は葉裏にもよくかかるように行う。
- 3 ラノーテープを各畝の上に設置し、増殖を長期間抑制する。
- 4 化学農薬に対する感受性低下が起こりやすいため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- 5 栽培終了時にはハウスの蒸し込みを行い、病害虫を外に出さないようにする。



写真1 オンシツコナジラミ成虫
(翅の隙間が閉じて見える)



写真2 オンシツコナジラミ蛹
(白色で厚みのある小判型)



写真3 タバココナジラミ成虫
(翅の隙間が空いて見える)



写真4 タバココナジラミ蛹
(黄色で厚みがなく扁平)